

サンセット
ヨーガみんななる
楽しめる
夏のイベント周防大島町
総合体育館

陸上競技場の広いフィールドの中で、夕日を浴びながら、深い呼吸と共にヨーガを体験してみませんか？ 初心者、おひとりさま、こどもさんも大歓迎。疲れた身体と心を鎮める、夕暮れのひととき、気持ちのいい時間をぜひ一緒に。

初めてという方でも気軽に参加できるプログラムです。ご参加お待ちしております。



【場所】周防大島町陸上競技場（雨天時・総合体育館）

【日時】7月22日（日曜日）18時～19時15分（受付開始17時30分）

【定員】先着50名（要予約）年齢制限はございません。ただし子供は保護者同伴。

【参加費】100円（保険料込み）

【講師】三浦さおり（日本ヨーガ禅道友会所属）

【持物】運動が出来る服装、汗拭きタオル、飲物、ヨガマット（またはバスタオル）

【申込方法】電話、メール、FAX、または総合体育館窓口にて申込み。

必要事項（氏名・住所・生年月日・性別・電話番号）をお知らせください。

【申し込み先】TEL 0820・78・2512

Fax 0820・78・2513

メール: info@sports-oshima.com

※荒天の場合は主催者の判断で中止とさせていただきます。当日10時までにHPでお知らせいたします。

民泊から

広がる絆

日本
移民
資料
館

日本ハワイ移民資料館には、民泊で周防大島を訪れる生徒の皆さんがよく来られます。

先日、受け入れ家庭の方が、学習院中等部の生徒さんを案内して来館。シアタールームで、移民の経緯、ハワイでの生活や仕事をまとめた映像を鑑賞の後、フロンティア精神を胸に続々と海を渡っていった先人達、また昨年新設されたブルーブラジル移民コーナーなどについて、私の説明に熱心に耳を傾けてくれました。

「民泊に訪れたこの地で、ハワイの話を聞けるとは思わなかった。将来ハワイに行った時にはこの資料館を思い出します」など嬉しい言葉を残して資料館を後にされました。

中には中国からの留学生もおられました。当館が全国から来島

された学生さんの思い出に刻まれて、交流の輪が広がっていく。そのことを大変嬉しく思っ



ています。最近では民泊で訪ねてくれた生徒の家族が「子供から聞いて来館しました」というケースも増えてきています。

六万点の民具から：

暮らしの
モノ語り

水がめ

その名の通り水を貯えておくためのかめである。かつては、井戸が家から離れた場所にある家庭が多く、台所の流しのそばに水がめを置いていた光景がよく見られた。

古くから、かめは貯蔵用として重宝されてきた。

水がめとしてのほか、味噌がめ、また餅を水につけて保存する水餅用としても使用され、普通に見られる道具であった。そのなかでも



水がめ用のかめは大型で、多くの水を貯えておくことができる。また、背が高いので、立ったまま水を汲むのにも都合がよかった。中の水は柄杓で汲みだし、飲み水や調理、洗い物に使った。そのため、水がめの口は柄杓を使いやすいように朝顔形に広くなっている。使わない時は蓋をして、その上に柄杓を置いた。このようにさりげない形や道具の使い方にも、使用してきた人たちの工夫がこらされていることがわかる。

水を汲みいれておくのは子どものお手伝いの一つで、辛い仕事ではあったが、友達との競争をしたり、楽しみでもあったという。このような水がめも、水道の普及とともに姿を消していった。この道具もまた暮らしの変化を今日に伝える民具の一つである。

（八幡生涯学習のむら）

明治150年 連続講座がスタート

世界の中の「明治」、その時代の周防大島の歴史をもとに考えようと、6月16日(土)に第一回目の講座が開催されました。当日は小林正典さんによる「国際交流の先駆け「海外移民」の歴史と現代」と題した講演がありました。

小林さんは、「海外移民」の歴史的な意義、特に周防大島から多くの人たちが渡ったハワイの移民が、国同士の協定など、その後



の日本の移民の在り方を決定づけたと強調されました。また人びとが活発に世界を行き来する現代、移民の在り方や難民問題を考える上でも、いろいろな問題に直面しながら友好関係を築いてきた移民の歴史に目を向ける必要があると述べられました。

当日は大島国際交流協会と、山口大学の学生のみなさんによるハワイ文化の体験コーナーもありました。参加者の方はハワイ移民の歴史をまとめたパネル展示を見学し、ハワイ文化のクイズにも最高点を狙って真剣に取り組んでいました。

次回は7月21日(土)に八幡生涯学習のむらで開催します。

◆明治150年連続講座Ⅱ

講演：世界のなかの幕末・明治維新―幕末期の長州藩を中心として―

講師：田口由香氏(大島商船高等専門学校准教授)

日時：7月21日(土) 13時30分～15時30分
会場：八幡生涯学習のむら
定員：50名(先着順)

問い合わせ：島の生活文化研究会：0820・72・2601
関連企画：「四境の役」パネル展(9月30日まで)



イベントひろば

宮本常一記念館

▼地域交流員企画展「戦前戦後女性と子供」

宇部・山陽小野田・美祢・周防大島等で家族アルバムを調査をしている吉富彰さん(当館地域交流員)が昭和期の生活写真を紹介する展示。

会期：7月28日(土)～8月25日(土)
時間：10時～18時/入場無料

▼企画展示「古写真の風景を探る―フィールドでの発見」

周防大島の昭和30年代の写真調査の成果をご紹介します。近年寄贈された宮本常一

愛用のオリンパスペンや旅行カバンなど調査時の愛用品も初公開です。

会期：8月2日(木)～12月18日(火)

時間：9時30分～18時
大人300円・小人150円・町内小中学生無料

関連講演：「宮本常一写真が語る佐渡の暮らし(仮)」

講師：池田哲夫氏(新潟大学名誉教授)

日時：11月11日(日) 13時30分～15時30分
会場：東和総合センター/入場無料/定員50名(先着順)

問い合わせ：0820・78・2514



八幡生涯学習のむら

▼古文書読講座を開催

本年度は複数のテキストを使用し、いろいろなタイプの文字に触れます。古文書の形や言葉の意味も解説し、当時の人々の生活や思いについてご紹介する予定で、初心者の方も大歓迎です。どうぞお気軽にお申込みください。

日程：7月14日(土)、9月8日(土)、11月10日(土)、1月12日(土)、3月9日(土)
時間：10時～11時半
参加費：各回100円/定員：25名(先着順)

▼歴史講座のお誘い

明治改元から150年にあたり、四境の役の戦災からの復興を主導した当時のリー

ダーや、幕末から明治維新を通じた久賀の変化について、金本豊氏(町文化財保護審議会委員)にお話しいただきます。周防大島、特に久賀における近代化の原点ともいえる明治維新について学ぶ企画です。

日時：9月9日(土) 14時～15時
定員：65名/入場無料

問い合わせ：0820・72・2601

周防大島町陸上競技場・総合体育館

▼暑い夏に向けて体力づくり！

当施設には各種トレーニングに対応できるマシンを設置した「トレーニングルーム」があります。健康維持向上、生活習慣病の予防改善、シェイプアップ、筋力アップなど様々なリクエスに使える使いやすい器具を揃えております。

初めてトレーニングルームをご利用になる方には安全で効果的な運動を行っていただく為に、登録講習会の受講が必要となります(要予約・約1時間)。ぜひご登録ください。



利用料金：1回200円

設備：有酸素運動系(エアロバイク、ランニングマシン等)/筋力トレーニング系(チェストプレス、ショルダープレス、ハイプリー等)/ストレッチ系(ベルトマッサージ機、ストレッチマット等)/血圧測定器、体脂肪計、無料ロッカールーム、シャワー(200円)

問い合わせ：0820・78・2512